

## (専門分野)

授業科目	診療に伴う技術Ⅱ	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.薬物を取り扱う際のチームにおける看護師の責任と役割を理解する。 2.薬物療法の意義・目的を理解し、薬物療法を受ける対象への看護技術を習得する。			時間数	
				30	
				学年	
				1	
				時期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	薬物療法時の看護師の役割	1.薬物の基本的性質 2.看護師の役割 1)正しい与薬 2)薬の管理(毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬を含む)		講義	教員
2~3	与薬の技術 (経口与薬・口腔内与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬)	1.それぞれの薬物の基礎知識 2.それぞれの薬物の援助方法		講義	教員
4		3.経口与薬の援助の実際		演習	教員
5~6	注射の援助技術	1.注射 1)注射の基礎知識 2)皮下注射・皮内注射・筋肉内注射の援助方法		講義	教員
7~8		1.筋肉内注射の実際		演習	教員
9~11		1.静脈内注射の基礎知識 2.静脈内注射の援助方法 (ワンショット、点滴静脈内注射) 3. 中心静脈カテーテルの管理と援助方法		講義	教員
12~13		1.注射モデルへの静脈内注射の実施		演習	教員
14	輸血療法を受ける患者の看護	1.輸血管理		講義	教員
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 100点	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる Vol.① 基礎看護技術 看護がみえる Vol.② 臨床看護技術			